



米国株 MARKET PICK UP



先週の米国株式市場—ダウ平均上昇もハイテク株決算冴えずナスダックは下落—

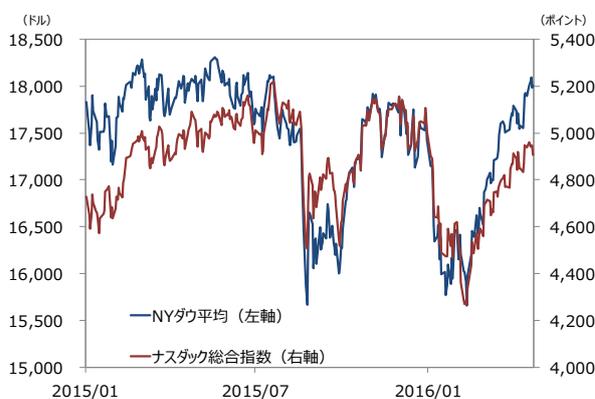
	前週終値	4月18日	4月19日	4月20日	4月21日	4月22日	週間騰落幅	週間騰落率
ダウ平均	17,897.46	18,004.16	18,053.60	18,096.27	17,982.52	18,003.75	+106.29	+0.59%
騰落幅		+106.70	+49.44	+42.67	-113.75	+21.23		
S&P500	2,080.73	2,094.34	2,100.80	2,102.40	2,091.48	2,091.58	+10.85	+0.52%
騰落幅		+13.61	+6.46	+1.60	-10.92	+0.10		
ナスダック総合指数	4,938.22	4,960.02	4,940.33	4,948.13	4,945.89	4,906.23	-31.99	-0.65%
騰落幅		21.80	-19.69	+7.80	-2.24	-39.66		

＜先週の概況＞

先週の米国株式市場で、ダウ平均とS&P500は上昇した一方、ナスダック総合指数は下落しました。

原油価格の上昇が好感された一方で、マイクロソフト (MSFT) やアルファベット (GOOGL) など一部ハイテク株の決算が市場予想を下回る内容だったことから、ハイテク株比率の高いナスダック総合指数は軟調推移となりました。

NYダウ平均とナスダック総合指数の推移



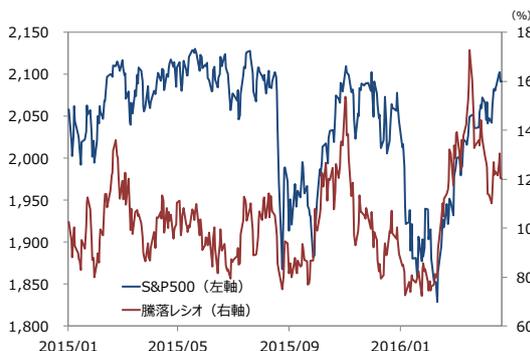
(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

米国株式市場バリュエーション

指数	予想PER (倍)	PBR (倍)	予想配当利回り
ダウ平均	16.7	3.1	2.6%
S&P500	17.8	2.8	2.2%
ナスダック総合指数	20.9	3.6	1.3%

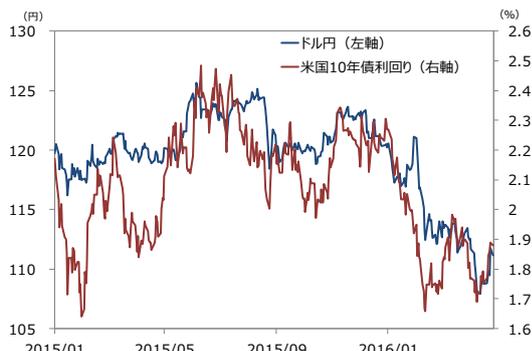
(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成 (2016年4月22日時点)

S&P500と騰落レシオの推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

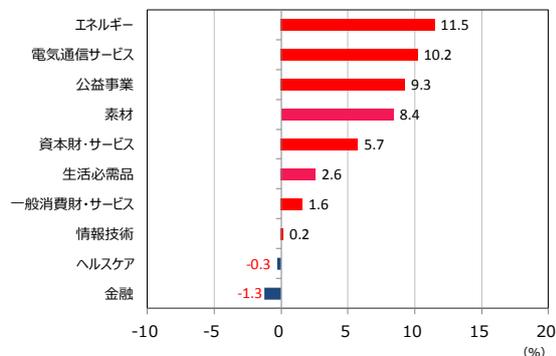
ドル円と米国長期金利の推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

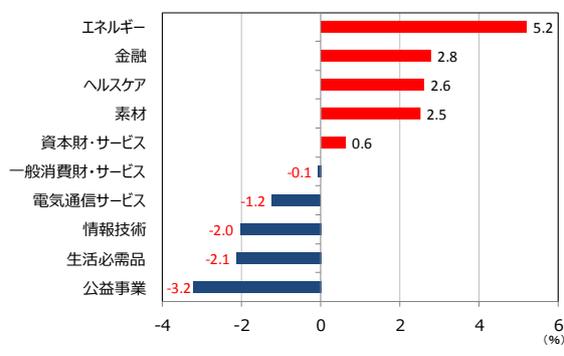
業種別リターン

S&P500 業種別年初来リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

S&P500 業種別週間リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

ダウ平均採用銘柄 週間騰落率ランキング

値上がり率ランキング (4/18-4/22)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
AXP	アメリカン・エクスプレス	6.1
UNH	ユニテッド・ヘルス・グループ	5.3
DIS	ウォルト・ディズニー	5.3
GS	ゴールドマン・サックス・グループ	5.2
CVX	シェvron	4.9
JPM	JPMorgan・チェース・アンド・カンパニー	3.4
XOM	エクソン・モービル	3.0
JNJ	ジョンソン・エンド・ジョンソン	2.8
PFE	ファイザー	2.4
UTX	ユニテッド・テクノロジーズ	1.1

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

値下がり率ランキング (4/18-4/22)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
MSFT	マイクロソフト	-7.0
TRV	トラベラーズ・カンパニー	-4.6
AAPL	アップル	-3.8
KO	ザ・コカ・コーラカンパニー	-3.4
IBM	IBM	-2.1
MCD	マクドナルド	-1.8
PG	プロクター・アンド・ギャンブル・カンパニー	-1.6
VZ	ベライゾン・コミュニケーションズ	-1.6
V	ビザ	-1.2
CAT	キャタピラー	-1.1

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

<上昇>

ダウ平均採用の30銘柄中15銘柄が上昇、15銘柄が下落しました。1-3月期の決算発表で増収減益だったものの市場予想を上回ったアメリカン・エクスプレス (AXP) が週間で6%超上昇し、ダウ平均採用銘柄で上昇率トップとなりました。また、ゴールドマン・サックス (GS) やJPモルガン (JPM) といった金融株や、シェvron (CVX) やエクソン・モービル (XOM) といったエネルギー株など、年初から出遅れていた銘柄の物色が目立ちました。

<下落>

マイクロソフト (MSFT) は1-3月期の決算が減収減益で、市場予想も下回ったことから週間で7%の大幅安となっています。

先週発表された主な経済指標

中古住宅販売件数（年率換算） 3月 533万戸 市場予想 526万件 前月 507万件

20日に発表された3月の中古住宅販売件数は年換算533万件と市場予想を上回って前月から販売件数が増加しました。

ただ、販売件数の増加に勢いがあるわけではなく、依然として緩やかな伸びが続いています。



今後発表される主な経済指標

連邦公開市場委員会（FOMC）



ジャネット・イエレン FRB 議長

4月26日から27日にかけて連邦公開市場委員会（FOMC）が開催されます。今回の会合で利上げが決定される可能性は非常に低いとみられています。ただ、原油価格の上昇や世界経済の回復、世界的な株価の上昇などファンダメンタルズの好転を受け、会合後に発表される声明文で6月のFOMCで利上げするかを具体的に議論することが示唆される可能性があります。市場は6月利上げの可能性をそれほど高く見積もっていないとみられ、株価にネガティブ・サプライズとなる可能性もありそうです。

マーケットビューー強気なFOMCで株安？ー

先週のマーケットビューーでは、産油国会合で増産凍結が合意されなかったことを理由に米国株は売り先行ではないかと記しました。実際には週初から米国株は堅調に推移し、ダウ平均は上昇しました。

今週はFOMCや1-3月期のGDP速報値、企業決算が材料となります。中でもFOMCが注目で、3月会合時の声明文に比べて米国経済や世界経済についての見通しは上方修正されるとみられます。その見通しの上方修正が6月利上げを想起させるような強い表現となれば、6月利上げが織り込まれ、ドル高・株安に作用するのではないかとみています。

フィナンシャル・インテリジェンス部 益嶋 裕

ご留意いただきたい事項

マネックス証券(以下当社)は、本レポートの内容につきその正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。当社が有価証券の価格の上昇又は下落について断定的判断を提供することはありません。

本レポートに掲載される内容は、コメント執筆時における筆者の見解・予測であり、当社の意見や予測をあらわすものではありません。また、提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。

当画面でご案内している内容は、当社でお取扱している商品・サービス等に関連する場合がありますが、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

当社は本レポートの内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。

本レポートの内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。

当社でお取引いただく際は、所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。お取引いただく各商品等には価格の変動・金利の変動・為替の変動等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。信用取引、先物・オプション取引、外国為替証拠金取引をご利用いただく場合は、所定の保証金・証拠金をあらかじめいただく場合がございます。これらの取引には差し入れた保証金・証拠金(当初元本)を上回る損失が生じるおそれがあります。

なお、各商品毎の手数料等およびリスクなどの重要事項については、「[リスク・手数料などの重要事項に関する説明](#)」をよくお読みいただき、銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身のご判断で行ってください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会